

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	助手	氏名	於久 比呂美
----	-------------	----	----	----	--------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

近年、疾病構造は複雑に変容し、それに伴う患者のニーズも多様化してきた。また同時に、看護師に求められる課題も複雑となり、これに対応できるような看護師の育成が望まれている。そのため、看護における継続教育には、看護師自らが課題を設定して学ぼうとする自己教育力が重要であると考え、現在、看護師の自己教育力に注目をし、研究を進めている。

## 2. 研究業績

### ②その他の業績

<学会報告>

- ・ 山住康恵、於久比呂美、小野寺洋子、清水夏子、脇崎裕子、中野真理子、石飛マリコ、野口玉枝、福本優子、宮崎亜友美、山口のり子、山下浩典、小西恵美子「医療実践における「和」－看護倫理の授業での事例分析から－」、日本看護倫理学会第2回年次大会、2009年6月。
- ・ 福本優子、野口玉枝、山口のり子、石飛マリコ、宮崎亜友美、山下浩典、山住康恵、於久比呂美、小野寺洋子、清水夏子、中野真理子、脇崎裕子、小西恵美子「看護における「同」－看護倫理の授業での事例分析から－」、日本看護倫理学会第2回年次大会、2009年6月。
- ・ 瀧野由夏、藤野靖博、加藤法子、津田智子、於久比呂美、永嶋由理子「看護技術の獲得過程における緊張度の検討－反復練習と緊張度の変化から－」、第28回日本看護科学学会学術集会、2008年12月。

<調査研究報告書>

永嶋由理子、瀧野由夏、津田智子、加藤法子、藤野靖博、於久比呂美：温度センサーを用いた看護技術のエビデンスの検証－足浴による温熱効果の検証から－。平成19-20年度研究奨励交付金研究成果報告書、2009。

## 3. 外部研究資金

文部科学省、科学研究費補助金（若手研究B）、「看護実践能力と“Reflection”の質的変化の関係性に関する研究」、120万円、平成21年度～平成22年度、研究代表者：於久比呂美。

## 5. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本看護学教育学会、日本看護倫理学会

## 6. 担当授業科目（補助）

<学部>

基礎看護実習Ⅰ・1単位・1年・前期、基礎看護学概論・2単位・1年・前期、基礎看護技術論・2単位・1年・後期、基礎看護実習Ⅱ・2単位・2年・前期、フィジカルアセスメント論・1単位・2年・前期、看護過程・1単位・2年・前期、シンプトンマネジメント論・1単位・2年・後期、家族看護論・2単位・2年・後期、看護研究・2単位・3年・後期、総合実習・3単位・4年・前期

## 9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員